

課
長

絡連報才^丙二五九号

情報 一般配布

各受入港受入並送還人数豫報
(第八號)

昭和二一、七、五
總務課

日誌用

終戦連絡中央事務局交通部海運課
昭和三年六月二十一日調

0744

概況
 其後滿洲各地邦人の胡蘆島集結は徐々々増加し一日平均六〇〇〇人となつた。六月下旬以降船舶輸送定員約四分の一減員方聯合軍指令との関係もあり胡蘆島向配船は此の所更に増強せられ七月初旬には八三隻其輸送力は一日平均八三〇人にて達する予定である。乍然上海方面は既に六月下旬以降出帆船激減し旁々六月中旬以降南方方面は既配船の停滯は實に三六集の待機船を数へるに至りしがこれが急め船輸送力より觀た七日前半全國平均受入人数は滿洲北朝鮮方面特別の好転無き限り一四九五人と劃期的減少を示す模様である。斯くて六月後半以降落調に転じた全國受入人数は七月に入リ急落を演ずる事となつたが七月後半八月前半に就ては現在南方待機中のリバイイ型發出を見れば大体七月末より受入開始が予定せられるので畧前半全様一四〇〇〇人台が維持される見込であるが其後は滿洲北朝鮮其他ソ聯地区に新事態發生せざる限り一四〇〇〇

人台を割ることを見越されるに至つた。

次に九州、山陽（吳及仙崎）、東日本の地域別に観ると

九州	（六月後半）	（七月前半）	（七月後半）
山陽	七一七一人	五七三九人	五九五五人
東日本	一一八一一	四四九之四	二一七四
計	二一五七九	一三九五四	六〇〇〇

右の如く前号（第七號）に比し六月後半九州の減少、東日本の増加は上海コレラ流行に伴ふ航路バテイ型船舶輸送定員四分の一減に基くものである。減少は前記船舶輸送定員四分の一減に基くものである。又神繩は一時具体化を見んとしたか現地事情により再び延期せられ目下の処未定である。

二各受入港別受入並送還人数豫想

六月三十一日現在配船計画より觀た今各受入港の一日
 平均受入並送還人数豫想は次表の通りである第七号以後
 の顯著事項として前記船舶輸送定員四分の一減員、上
 海コシラ流行に伴ふ全航路りバテイ型全部の揚地浦負
 へ変更、其他の上海航路検査の爲の佐せ保寄港胡蘆島
 佐せ保揚し、博多揚に変更、七月下旬より日本商船の
 胡蘆島、鹿見島就航其他ラングーン、夕ボ
 ヲ、モールメン等ビルマ直接配船の開始がある。

0747

仙 崎	鹿 見 島	佐 世 保	博 多	考 別 期 別
5,000人	3,000人	5,000人	2,500人	六月後半
上海 郡山 注文 津 仁川 一日 二〇二五人 釜山はコレラの爲休止 送還は朝鮮人送出 依然不振	上海 及 南 方 あり 一日 六八四人	上海 コレラ 指定の爲 上海 就航船の検査 と あり 胡蘆島 船 博多 変更の爲 着 減 し 一日 三二一〇人	釜山ハコレラの爲時 休止中 送還は朝鮮人以前不振	六月後半
上海 郡山 注文 津 仁川 上海 僅少となり着減し 一日 八〇一人	商船 胡蘆島 あり 七隻 一航 海 豫 定せらる 上海 残部 と 合 せ 一日 一〇四三人	上海 残部 若干 入 港 する 程 度 一日 四四五人 但 コレラの 始 未 着 終 際 は 胡 島 あり 二〇〇人 程 受 入 復 帰 る 事 も 知 れ ず	朝鮮人送還 継続 釜山 コレラ 終 焉 の 場 合 は 若干 増 加 す	七 月 前 半
上海 終了に件々更に軽 減し 一日 六七四人	目下の所配船了定なく 一日 〇人	目下の所配船了定なく 一日 〇人 但 胡蘆島 あり の 入 港 は 豫 想 せ ら る	朝鮮人送還 継続 九月 末 終 了 目下の所配船了定なく 一日 五九五五人	七 月 後 半 及 以 降

0748

浦賀	名古屋	舞鶴	田辺	呉
5,000人	5,000人	2,500人	3,000人	8,000人
上海コシウ流行に伴い 全地航船中リバナ型 全部当港揚とせりたる により増増ハニユク 等と合せ 一日 五、三、七、七人	シニガホルラホルバ ビヤより 一日 一、八、六、八、八人	明彦島ドリリナイニ 前期全様 一日 二、五、三、五、五人	シニガホルラマシ ン一モロタイニ ヘリ既に入港者より 一日 二、一、〇、一、一人	シニガホルラより 入港候れ若干軽減 し 一日 五、七、二、二人
一日 一、九、五、五、六、人	南才六月末揚切ニ 折入港予定なく 一日 〇人	南才六月末揚切後 入港了定なり 一日 〇人	南才六月末揚切後 入港了定なり 一日 〇人	シニガホルラ ルメン其他南才より 外朝彦島より商船二隻 の予定 一日 二、九、二、三、三人
未詳なるも南才より 干入港も考へらる 一日 五、〇、〇、人	未詳なるも現在内地待機中 の南才向リバナ型 合は月未其受入開始 も知れず一日 一、五、〇、〇、人	未詳なるも現在内地待機中 の南才向リバナ型 場合は月未若干入港 知れず一日 五、〇、〇、人	未詳なるも現在内地待機中 の南才向リバナ型 場合は月未若干入港 知れず一日 五、〇、〇、人	未詳なるも現在内地待機中 の南才向リバナ型 場合は月未若干入港 知れず一日 一、五、〇、〇、人

0749

總括	函館	司下関	唐津
54,000人	2,900人	2,500人 2,500人	2,500人
送出一日 四、〇〇〇人	受入一日 二、五七九人	一時休止	機雷為使用時期未定 使用時期未定他補助的存在
送出一日 四、〇〇〇人	受入一日 二、三九五四人		
送出一日 四、〇〇〇人 (九月未終了)	受入一日 一、四一三九人 (但滿洲北鮮轉輸場自 增加)		

0750

若受入港別帰還輸送状況表
(六月二十一日現在 配船計画に據る)

地方	受入港	引揚港	使用船隻	回	延入港数	月間輸送力	一泊回上陸数	備考
九州	博多	釜山	商	3隻	5回	15隻 (2,385)	(794)	釜山コラの為待機中
		"	鉄	2	15	30 (48,750)	(1,625)	"
		仁川	商	7	3	21 (11,355)	(378)	継続
		"	船	2	1.5	3 (1,350)	(45)	"
		胡蘆島	商	7	3	21 22,710	757	"
		"	船	30	2	60 28,400	947	"
		"	Q	23	3	69 62,100	2,072	佐世保コラ検査港に於て博多揚比
		青一島	Q	1	1	1 1,200	40	臨時二航海 下旬受入
上海	商	1	1	1 800	27	七月上旬受入		
	計			221	179,450	5,968	従来上海よりリハタイはコラ為全部南賀揚に変更となる	
地	佐世保	上海	Q	16	3	42 37,800	1,260	七月上旬受入終了
		"	Q	21	2	42 23,000	766	"
		仁川	Q	1	1	1 (1,250)	(42)	下旬受入
		計	39		86	63,550	2,118	上の外上海よりの鹿児島、仙崎、湯島及南は一應検査の為各港に入港、患者保有船の2隻が港揚に於て健康船は支那限定の港に回航
区	鹿児島	胡蘆島	商	7	2	14 28,000	933	七月上旬より受入(一航海限りの予定)
		上海	船	26	2	52 16,500	550	七月上旬受入終了、検査の一應佐世保へ寄港
		シンガポール	商	1	1	1 2,000	67	下旬受入
		計	34		67	46,500	1,550	
	合計		149		374	289,100	9,636	
山陽	山口	釜山	商	3	5	15 (5,375)	(199)	釜山コラの為待機
		蔚山	Q	5	3	15 (6,750)	(225)	
		注文津	Q	4	3	12 (5,400)	(180)	
		仁川	Q	2	3	6 (2,700)	(90)	
		上海	Q	17	3	51 45,900	1,530	一應検査の為佐世保へ寄港、七月上旬受入終了
		計	31		99	66,135	2,204	
地区	呉	胡蘆島	商	2	1	2 5,340	178	七月中旬受入
		西貢	船	5	1	5 7,200	240	引揚港未定
		シンガポール	商	2	1	2 3,800	127	七月上旬受入
		"	V	13	1	16 40,000	1,333	下旬より受入開始(七月亦半受入旺盛)
		ランカーン	V	1	1	1 2,500	83	七月中旬受入
		夕張イ	V	1	1	1 2,500	83	"
		モルタン	V	1	1	1 2,500	83	"
		計	28		28	63,840	2,127	シンガポールにマヒルマ向に変更となる
	合計		57		127	129,965	4,331	
計(九州山陽)			208		501	419,065	13,967	

地方	受入港	引揚港	使用船種	月間船隻	月間輸送力	月間輸送力	一日平均上陸人数	備考	
東	田 辺	シンガポール	V	2	1	2	5,000	167	下旬受入終了 下旬受入 (外に中下旬既に10隻以上入港済み)
		マリンパン	V	1	1	1	2,500	83	
		計		3		3	7,500	250	
日	舞 鶴	胡蘆島	V	14	3	42	105,000	3,500	継続値以内五隻は受入時期未定
		計		14		42	105,000	3,500	
本	名 左 屋	シンガポール	V	5	1	5	12,500	417	下旬受入 " " (シンガポールにてバタビヤ向に変更) (外に中下旬既に10隻入港済み)
		ラホール	V	1	1	1	2,500	83	
		バタビヤ	V	2	1	2	5,000	167	
		計		8		8	20,000	667	
地	浦 賀	上 海	V	22	2	44	110,000	3,667	上海エラの為同地よりV型全部が港揚 となる 七月上旬受入終了 下旬受入終了 下旬受入旺盛 下旬受入 一部埃に変更の為軽減 (従来の両頁向配船の一部)
		ハコツク	V	3	1	3	7,500	250	
		〃	商	8	1	8	18,000	533	
		〃	Q	2	1	2	5,000	167	
		〃	艦	7	1	7	8,400	280	
		シンガポール	艦	3	1	3	12,300	410	
		計		45		67	159,200	5,300	
合 計			70		120	291,700	9,724		
全受入港総計				278		621	710,765	23,691	
未定		次航未定のもの	商	1					註(1) 南鮮引揚船の輸送力は引揚関係の現状に鑑み定員の二分一とし()内に記入す (2) 西貢向艦艇は一應同港に寄港し同地聯合軍側指令により更に南方各地へ廻航せしめらる (3) 新嘉坡向のバタビヤ船の一部は同地に於て聯合軍側指令により更に南方各地へ廻航せしめらる (4) 符号 V はリバティ型 Q は LST 商 は 日東商船 艦 は 日東艦艇 鉄 は 鉄道連絡船を示す
係 中			V	25					
			Q	10					
			商	3					
生 産			V	3					
			Q	5					
			艦	26					
			V	2					

七月紀船並受入圖

